



Ⅱ. 環境分析

- 2.1 地域環境分析
- 2.2 観光環境分析
- 2.3 関連計画分析
- 2.4 競合環境分析
- 2.5 SWOT分析および重要課題

2. 1. 地域環境分析

2. 1. 1. 立地環境

名張の立地

- 名張市は三重県西部、伊賀地域に位置する市である。
- 近鉄大阪線の沿線で、大阪都市圏へ約60分の位置にある名張市は大阪市や奈良市のベッドタウンとして発展、1960年代前半から名張藤堂家の家紋であった「桔梗」にちなんだ「桔梗が丘」の開発をはじめとした多くの大規模住宅地が造成され人口が急増した。
- 伊賀地域南部に位置し、周囲を山野や赤目四十八滝や香落溪といった溪谷を含めた美しい自然に囲まれ、四季自然を感じられる地域である。
- また、記紀に名を残す歴史と文化の薫り高いまちであり、美旗古墳群や夏見廃寺跡・黒田庄等の史跡・初瀬街道沿いの古いまち並み等、豊かな歴史資源に恵まれている。



- 大阪や名古屋など、都市圏に近接しており、大阪市内から鉄道で約1時間、自動車約1時間20分、名古屋市内から鉄道で約1時間30分、自動車1時間40分の距離にあり、アクセシビリティの条件は良好である。
- 大阪府8,851千名(大阪市2,687千名)、名古屋市2,277千名など(2014年11月)、近接100kmの以内に約11,000千名以上の潜在的観光市場が存在する。



2. 1. 2. 自然環境

■ 地形

- 名張は古琵琶湖の南端部分が及んでいたところと推定され、湖岸の後退によって伊賀盆地となり、名張川周辺に平坦な陸地を作り出したものとされている。
- 東部から北部にかけては標高300~400mの丘陵地で伊賀市に、西部は名張川沿いに断層崖が存在し奈良県と、南部は岳地帯で紀伊山地に属し、奈良県と接している。
- 伊賀盆地は南東から北東に向けて傾斜しているため、青蓮寺川・宇陀川と合流した名張川は、北方向に向かい、木津川・淀川を経て、大阪湾へ注いでいる。
- 市域の標高は、市役所で225.93m、海拔の最低は、薦生地内の名張川河川敷で162m、最高は国見山山頂付近の883mである。

■ 地質

- 日本列島の地質は、日本海側の内帯と太平洋側の外帯に構造線によって分けられ、大断層帯を成している。
- 名張市はこの構造線近く、内帯の南端の位置している。基礎盤岩は領家片麻岩類により形成されており、この上に第3紀鮮新世成層(古琵琶湖層群伊賀累層)が堆積し、堆積層の下部は粘土、上部は砂層でおおわれている。
- 市域南部は基礎盤岩の上に室生火山群の活動による流紋岩質溶結凝灰石が分布している。曾爾村境界の山々は、自身の噴火でできたものではなく、約1310万年前、三重・奈良県境にある高見山中腹の爆発により噴出した火山灰が堆積・凝固し、死火山となったのち、風雨や河川の浸食によって現在の山容になったものとされている。

■ 気象状況

年 (平成)	気温			平均湿度 (%)	平均風速 (m/s)	降水量
	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)			
16年	16.5	36.5	-4.5	63.9	2.3	1.603.0
17年	15.7	36.3	-3.8	64.5	2.4	1.037.0
18年	14.5	36.9	-4.3	64.7	2.0	1.378.5
19年	14.9	37.7	-5.0	63.2	2.0	1.203.5
20年	15.6	37.4	-3.9	64.6	2.0	1.271.5
21年	14.7	35.9	-4.0	64.2	2.0	1.392.5
22年	15.0	36.1	-4.4	75.0	1.6	1.501.5
23年	14.4	35.7	-4.3	-	1.4	1.803.5
24年	14.2	36.6	-7.5	78.6	1.5	1.568.0
25年	14.7	36.8	-3.5	78.2	1.5	1.604.5
10年平均	15.02	36.59	-4.52	61.69	1.87	1.436.35

*資料：名張市統計書2014年

2. 1. 3. 人文環境

地区概況

- 名張市の面積総計は129.76k㎡であり、三重県(5,777.31k㎡)の約2%である。
- 名張市は15地域に構成されている。

地区名	面積	地区名	面積	地区名	面積
名張	2.90	美旗	11.98	箕曲	12.23
鴻之台希央台	0.86	比奈知	15.86	百台が丘	14.97
蔵持	2.65	すずらん台	0.88	国津	25.39
梅が丘	3.99	錦生	11.71	桔梗が丘	3.14
薦原	11.55	赤目	9.40	つつじが丘	2.25
				総計	129.76



人口および世帯数推移

- 名張市の世帯数は平成25年、30,494世帯を示し、直近10年間、年平均0.64%増加。
- 人口総数は平成25年79,245人(男38,039人/女41,206人)を示し、直近10年間年平均0.46%減少。
- 年少人口指数・老年人口指数・従属人口指数・老年化指数は直近10年間年平均0.24%、5.26%、3.22%、5.05%を示し、増加傾向である。
- 名張市の人口特性は、少子高齢化が進行している。

年(平成)	世帯数	人口総数			1世帯あたりの人員	人口密度(人/km)	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
		総数	男	女						
16年	28,607	83,010	39,866	43,144	2.90	639.7	21.0	25.1	46.2	119.6
17年	28,334	82,156	39,385	42,771	2.90	633.1	20.9	26.8	47.7	128.4
18年	28,852	81,750	39,159	42,591	2.83	630.0	20.6	28.4	49.0	137.5
19年	29,199	81,227	38,971	42,256	2.78	626.0	20.6	30.1	50.7	146.2
20年	29,654	80,933	38,777	42,156	2.73	623.7	20.6	31.8	52.4	154.9
21年	29,939	80,541	38,538	42,003	2.69	620.7	20.5	33.7	54.3	164.1
22年	29,481	80,284	38,438	41,846	2.72	618.7	20.5	35.1	55.7	171.1
23年	30,022	80,171	38,481	41,690	2.67	617.8	20.5	36.0	56.5	176.2
24年	30,265	79,780	38,315	41,465	2.64	614.8	21.0	38.8	59.8	185.1
25年	30,494	79,245	38,039	41,206	2.60	610.7	21.5	41.9	63.4	195.5
10年平均増減率	▲0.64%	▼0.46%	▼0.47%	▼0.46%	▼1.09%	▼0.46%	▲0.24%	▲5.26%	▲3.22%	▲5.04%

※従属人口指数とは、年少人口と老年人口が生産年齢人口に対して占める比率、働き手である生産年齢人口100人が年少者と高齢者を何人支えているかを示す。
 従属人口指数=(年少人口+老年人口)÷生産年齢人口×100

※資料：名張市統計書2014年

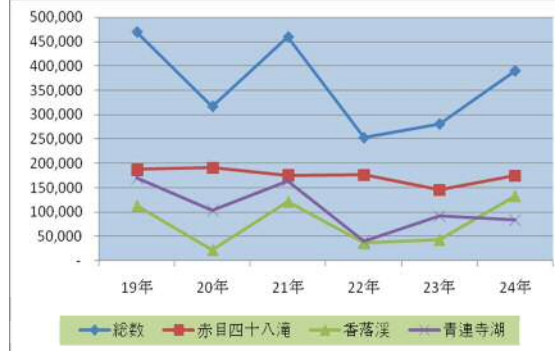
2. 2. 観光環境分析

2. 2. 1. 名張市の観光概況

観光客の推移（平成19年から24年）

- 名張市の赤目四十八滝・香落溪・青蓮寺湖の三つの自然観光地に直近の6年間訪問した入込客の推移をみるとW字型の傾向を示しており、年平均36万人程度である。
- 赤目四十八滝の観光客は17万人程度の水準。一方、他の2ヶ所は推移の幅が大きく表れている。

年(平成)	総数	赤目四十八滝	香落溪	青蓮寺湖
19年	470,168	187,265	112,704	170,199
20年	317,142	190,868	22,636	103,638
21年	460,041	175,301	120,722	164,018
22年	252,755	176,667	36,350	39,738
23年	280,788	145,613	43,705	91,470
24年	390,241	174,752	132,338	83,151
6年平均	361,856	175,078	78,076	108,702



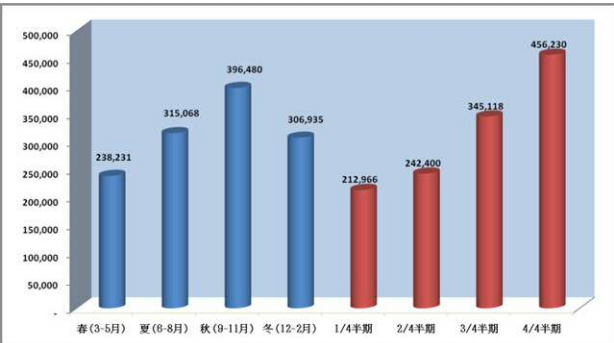
*資料：名張市統計書2014年

月別観光客（平成25年）

- 年間名張市を訪れる観光客の合計は125万人で11月に集中している。
- 季節別に見ると冬が約40万人で高い数値を示している。
- 四半期別には第4四半期(10-12月)が45万人で最も高く表れている。

平成25年	入込客延数	季節	四半期
1月	52,672	396,480 (12-2月)	212,966 (1-3月)
2月	100,341		
3月	59,953	306,935 (3-5月)	242,400 (4-6月)
4月	94,972		
5月	83,306	238,231 (6-8月)	345,118 (7-9月)
6月	64,122		
7月	135,908	315,068 (9-11月)	456,230 (10-12月)
8月	115,038		
9月	94,172	200,976	
10月	101,332		
11月	200,976	153,922	
12月	153,922		
合計	1,256,714	-	-

*調査対象(15ヶ所)：赤目四十八滝・香落溪・青蓮寺湖・青蓮寺湖観光農園・旧細川邸 やなせ宿・とれたて名張交流館(まちの駅なばり)・癒しの里名張の湯(まちの駅なばり)・名張桜まつり・名張川納涼花火大会・名張秋まつり・八日戎・とれたて!なばり・ご当地グルメでまちおこしin名張・三重の魅力名張元気フェア・隠(なばり)街道市



*資料：観光レクリエーション入込客数推計書観光客実態調査報告書(平成25年)

■ 主な観光地の入込客（平成25年）

- 全体15箇所の観光地における入込客数をみると、癒しの里 名張の湯を訪れる客数が年間33万人で最も高い数値を示している。
- 月別にみて最も多いのは、11月と12月で、とりわけ11月は赤目四十八滝を訪れる観光客で高い数値を示している。
- 夏の7月と8月にはそれぞれ135千人、115千人が訪問している結果で表れている。

観光地	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
赤目四十八滝	1,590	1,992	4,934	7,986	17,905	11,164	16,680	34,207	14,444	12,545	36,446	4,055	163,948 (13.0%)
香落溪	2,514	2,985	4,965	9,969	14,172	9,036	9,372	13,212	12,379	21,165	23,340	5,337	128,446 (10.2%)
青蓮寺湖	1,702	2,396	4,331	6,172	8,064	4,518	5,353	9,619	11,444	12,883	11,700	2,669	80,851 (6.4%)
青蓮寺湖観光農園	1,482	3,010	6,160	3,959	3,261		2,223	10,042	17,515	7,669	100		55,421 (4.4%)
旧細川邸 やなせ宿	970	1,665	1,189	1,185	1,795	5,698	1,119	953	1,105	1,062	2,429	1,919	21,089 (1.7%)
とれたて名張交流館 (まちなばり)	9,134	10,644	10,095	9,672	10,658	9,882	9,732	12,462	11,645	11,588	11,258	11,105	127,875 (10.2%)
癒しの里名張の湯 (まちなばり)	35,280	27,649	28,279	26,029	27,451	23,824	24,429	34,543	25,640	24,420	25,703	28,837	332,084 (26.4%)
名張桜まつり				30,000									30,000 (2.4%)
名張川納涼花火大会							67,000						67,000 (5.3%)
名張秋まつり										10,000			10,000 (0.8%)
八日戎		50,000											50,000 (4.0%)
とれたてなばり											20,000		20,000 (1.6%)
ご当地グルメでまち おこしin名張											35,000	55,000	90,000 (7.2%)
三重の魅力・ 名張元気フェア											20,000	23,000	43,000 (3.4%)
隠(なばり)街道市											15,000	22,000	37,000 (2.9%)
合計	52,672	100,341	59,953	94,972	83,306	64,122	135,908	115,038	94,172	101,332	200,976	153,922	1,256,714
比率(%)	4.2%	8.0%	4.8%	7.6%	6.6%	5.1%	10.8%	9.2%	7.5%	8.1%	16.0%	12.2%	100%

*資料：観光レクリエーション入込客数推計書観光客実態調査報告書(平成25年)

■ 名張市の観光推移

- 全体15カ所の観光地中、自然観光資源である赤目四十八滝、香落溪、青蓮寺湖の3カ所で全体観光客数の30%を占めている。
- 四半期ごとにみると第4四半期(10～12月)に36.3%を示しており、第3四半期(7～9月)には27.5%、第2四半期(4～6月)には19.3%、そして第1四半期(1～3月)は17%で現れ、第4四半期に偏っていることがわかる。
- 名張桜まつり(30千人)、名張川納涼花火大会(67千人)、八日戎(50千人)名張秋まつり(10千人)など特定の単一イベントを訪れる訪問客数も年間100千人を超え、有意性のある数値が示された。

2. 2. 2. 名張市の主な観光資源

■ 自然観光資源

名称	地域	備考
赤目 四十八滝	赤目町 長坂	室生赤目青山国定公園の中心に位置し、約4kmにわたって続く渓谷。滝をつなぐ回路は遊歩道となっていて、多彩な滝を巡りながらの散策が楽しめる。平成の名水百選・日本の滝百選・森林浴の森 日本百選・遊歩百選に選ばれ、特別天然記念物オオサンショウウオの生息地でもある。
香落溪	青蓮寺	柱状節理の岩肌が青蓮寺川に沿って約8km続く。春には山桜やツツジが咲き乱れ、秋は紅葉に彩られる。
青蓮寺湖	青蓮寺	青蓮寺川にできたダムによって生まれた人工湖。山々に囲まれた湖面には、四季を通じて美しい風景を映し出す。湖畔周辺には公園やテニスコートが整備されており、バードウォッチング等も楽しめる。
青蓮寺 国津神社	青蓮寺	幹が根本で一体化した杉とヒノキがあり、異なる種が根本で融合していることから、『縁結之神』のご利益があると言われ、隠れたパワースポットとして有名。



赤目四十八滝



香落溪



青蓮寺湖



青蓮寺国津神社

■ 体験観光資源

名称	地域	備考
忍者の森	赤目町長坂	伊賀流忍者修行を体験できる施設。
青蓮寺湖観光村	青蓮寺	青蓮寺湖畔の観光農園で、いちご狩りやぶどう狩りが楽しめる。
温泉	赤目町長坂 赤目町柏原 青蓮寺 希中央	赤目温泉、香落溪温泉、名張希中央温泉。
まちな駅なばり (癒しの里名張の湯・ とれたて名張交流館)	希中央	天然温泉を使用した露天風呂をはじめとする多彩なお風呂やエステ、レストラン等が楽しめる「癒しの里名張の湯」と、名張の農産物を中心として漬物等の加工品、パン、お菓子、地酒、花木、工芸品等を販売する「とれたて名張交流館」を併設した施設。



忍者の森



青蓮寺湖観光村



温泉



まちな駅なばり

食

名称	地域	備考
名張牛汁	—	伊賀牛を使った名張市のご当地グルメ。
伊賀牛	—	伊賀地域の生産農家が、昔ながらの肥育方法で育てた黒毛和種の雌牛に与えられる称号。
滝見弁当	赤目町長坂	地域の野菜や米等を使ったお弁当として、赤目四十八滝周辺店舗で販売。
かたやき	—	『かたやき』は忍菓と呼ばれ、その昔、伊賀忍者の携帯食であった。程よい甘さと芳しい香り、歯ごたえのある素朴な伊賀を代表する銘菓。



名張牛汁



伊賀牛



滝見弁当



かたやき

歴史・文化

名称	地域	備考
旧細川邸 やなせ宿	新町	江戸時代から明治初年に、薬商細川家の支店として建設された旧細川邸。初瀬街道の宿場町として栄えた賑わいを再現し、人々が集う場としてリニューアルされた。レストラン・カフェ等観光交流施設として利用されている。
名張藤堂家邸	丸之内	名張に居を構えた藤堂家の屋敷跡。私的な生活の場が残されているのが特徴で、「豊臣秀吉朱印状」「鉄唐冠形兜・一の谷形兜」「朱具足」等の文化財が一般公開されている。
夏見廃寺跡	夏見	大来皇女が父の菩提を弔うために建てた昌福寺跡といわれている。隣接する展示館では、搏仏、軒瓦等の出土品を展示している。
美旗古墳群	美旗	前方後円墳を中心に7つの主な古墳が認められており、馬塚、女良塚、毘沙門塚等の古墳が近鉄美旗駅周辺に点在。国の史跡にも認定されている。



旧細川邸やなせ宿



名張藤堂家邸



夏見廃寺跡



美旗古墳群(貴人塚古墳)

祭礼・イベント

名称	地域	備考
八日戎	鍛冶町	「えべっさん」の愛称で親しまれる名張に春を呼ぶ風物詩のひとつ。七福神が町へ繰り出すほか、海の幸と山の幸の物々交換が名残のはまぐり市が多くの露店とともに立ち並びます。
名張桜まつり	夏見	3月下旬から4月上旬まで、桜の開花に合わせて、中央公園の桜並木の園内道路が夜桜見物のため、歩行者天国になっている。満開の日曜日には終日多彩なイベントも行われる。園内約300本のピンクのトンネルは圧巻。
名張川納涼花火大会	新町河畔	7月下旬、新町・愛宕神社「愛宕の火祭り」の松明の川渡りを合図に約5000発の花火が名張川新町河畔を彩る。
名張秋まつり	名張市街地	10月最終の土日、平尾・宇流富志禰神社（通称：お春日さん）で行われる同神社の秋季例大祭。町内みこしや、だんじり、ふとん台などが繰り出し、獅子舞も奉納される。



八日戎



名張桜まつり



名張川納涼花火大会



名張秋まつり

文化財

種別	名称	員数	時代	指定年月日	所在地	所有者
有-彫刻	木造聖観音立像	1	平安時代	大正2年8月20日	西田原	弥勒寺
記-史跡	美旗古墳群	7	古墳時代	昭和53年10月17日	美旗町中1番ほか	名張市
記-史跡	夏見廃寺跡	—	飛鳥時代	平成2年3月8日	夏見	名張市
記-名勝	赤目の峡谷	—	—	大正14年10月8日	赤目町長坂	延寿院他

*平成26年5月1日現在 掲載分は国指定文化財
*種別の「有」は有形文化財、「記」は史跡名勝天然記念物の略称



木造聖観音立像



美旗古墳群(貴人塚古墳)



夏見廃寺跡

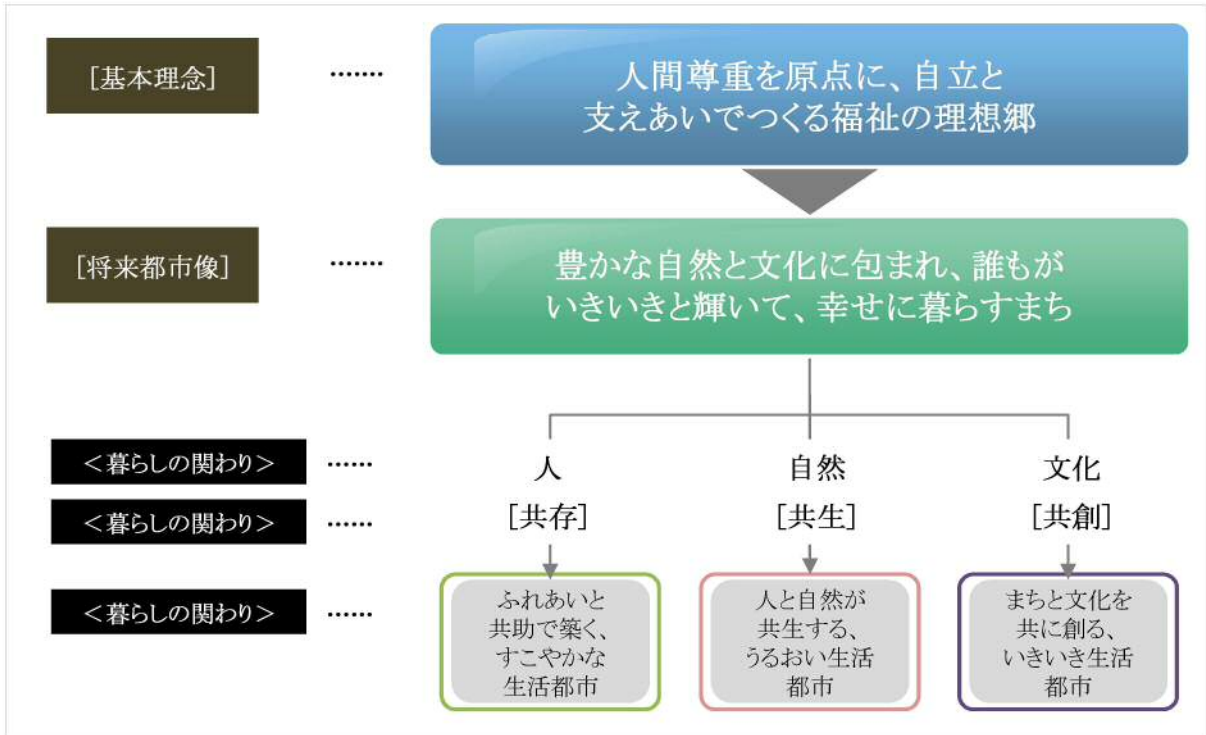


赤目溪谷

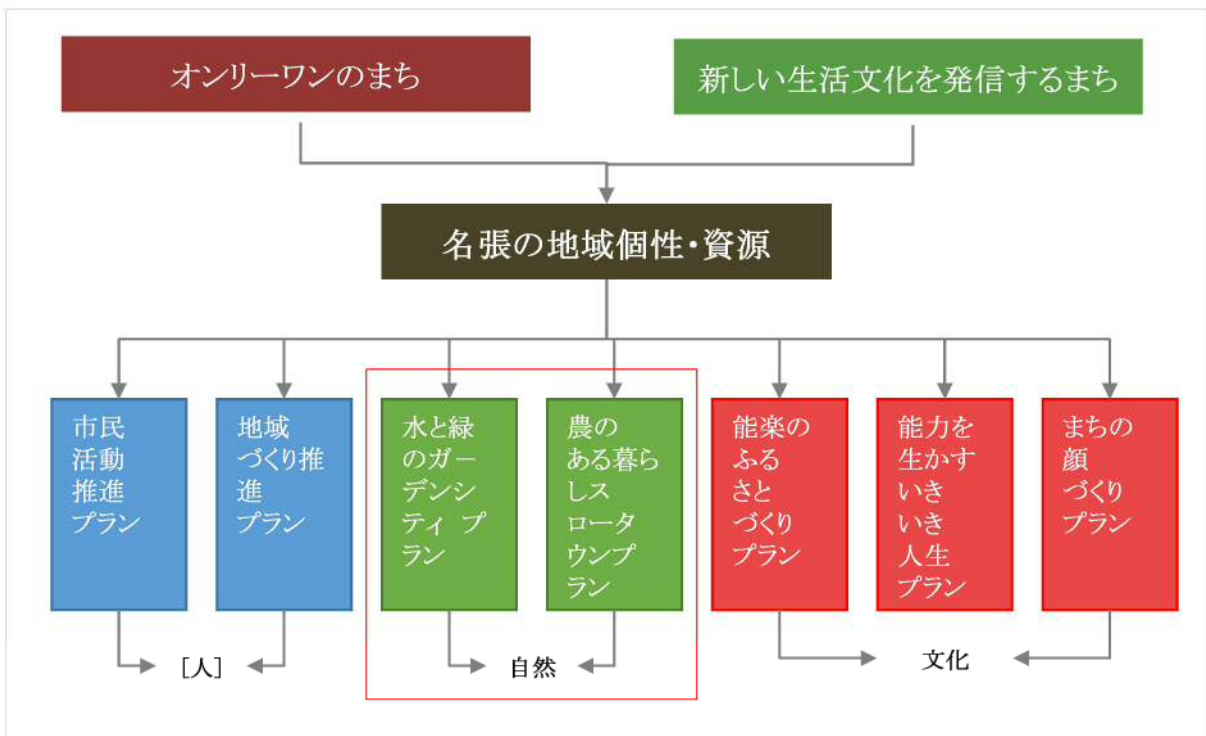
2. 3. 関連計画分析

2. 3. 1. 名張総合計画(理想郷プラン)

基本理念と方向性



まちづくりの戦略



■ 観光分野と関連したプラン

1. 水と緑のガーデンシティプラン

- 名張川と多くの支流を、市民生活の潤いと安らぎを与える貴重な資源として、水辺環境の保全と活用を図る。
- 赤目四十八滝や青蓮寺湖、ひなち湖の周辺を人々の交流や憩いの場として整備する。
- 森林の適正管理や広葉樹林への転換を促進する。
- 市民の森林ボランティア活動など新しい森林管理の仕組みづくりに取り組み、森林資源の活用を進める。
- 園芸福祉の普及を促進し、空き地や公園などの緑化運動、花いっぱい運動などを展開する。

2. 農のある暮らし、スロータウンプラン

- 都市と農山村を多様に結び付け、多彩な農の担い手の育成するとともに、新しい「なばり農業」を展開する。
- 市民農園の拡充や水田の里親制度、援農ボランティアなど市街地などに住む市民と農家が豊かに交流する仕組みづくりを進める。
- 新鮮で安全・安心な地元の農産物を市民が身近に消費できるよう農産物直売所の設置、学校給食への地元食材の利用拡大や食育の推進、食材の安全性に関する情報提供などを進める。
- 生ごみの堆肥化などによる循環型農業を推進する。
- アグリパーク(農業公園)の整備に取り組む。

■ 観光分野の施策

1. 基本方針

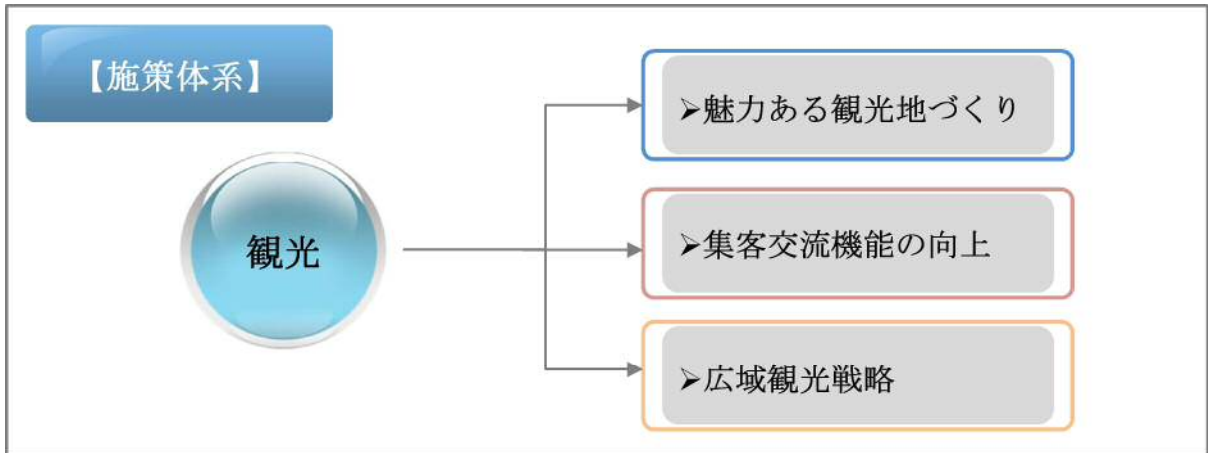
- ・ 赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪を観光拠点として位置づけ、自然環境の保全・活用を進める。また名張地区の歴史・文化資源をはじめとする新たな観光素材や資源を発掘、創造するとともに、多様な観光資源の連携を強化することにより、観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図る。
- ・ 来訪者を温かく迎え、豊かな交流が広がるもてなしの心（ホスピタリティ）の向上に取り組むとともに、利便性の向上や受け入れ態勢の整備、マスメディアや旅行会社との連携による効果的な情報発信など、集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出する。
- ・ 市内の観光拠点と伊賀圏域、東大和西三重地域との広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘客戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指す。

2. 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
1) 観光入込客数（市全体）	297,000人	480,000人	482,000人
2) 観光入込客数（赤目滝）	193,000人	260,000人	265,000人
3) 観光協会ホームページへの 1日平均アクセス件数	410件	440件	670件
4) 東大和西重観光連盟 ホームページへの1日平均 アクセス件数	20件	25件	28件

- 1) 観光などの目的で、市内観光地を訪れた人数〈全国観光統計基準に基づき、集計した推計値〉
- 2) 観光などの目的で、赤目四十八滝を訪れた人数〈全国観光統計基準に基づき、集計した推計値〉
- 3) 社団法人名張市観光協会への年間アクセス件数／365日
- 4) 奈良県の榛原【宇陀市】・室生【宇陀市】・曽爾村・御杖村と、三重県名張市、青山【伊賀市】・美杉【津市】の2県6市村で構成する東大和西三重観光連盟ホームページへの年間アクセス件数／365日

■ 観光分野の施策展開



■ 魅力ある観光地づくり

1. 観光拠点の整備

- ・ 赤目四十八滝の美しい自然を保全するとともに、これに調和する散策路や休憩所、トイレなどの施設整備を進める。
- ・ 香落溪の魅力の向上を図るため、水辺とふれあう事ができる周遊散策路の整備を進める。また青蓮寺湖周辺については、スポーツや観光農園、自然休養村など多様なレクリエーション活動を楽しむ事ができて、四季の自然の美しさが満喫できるよう特色ある環境整備を推進する。
- ・ 名張地区の商業やまちづくりと連携して、初瀬街道沿いに残る街並みや水辺、伝統産業や祭りなどの歴史・文化資源を周遊できるよう「まち歩き観光」を展開する。
- ・ 美旗古墳群、観阿弥創座の地、黒田庄、ひなち湖などの地域素材を生かして、地域づくりや産業、伝統文化などと連携した体験型観光を創造する。
- ・ 都市化型観光の推進にあわせて、観光施設や案内標示などの再整備やユニバーサルデザインを促進する。

2. テーマ型観光の充実とネットワークの形成

- ・ 「名張」の魅力为全国発信するために、都会から近い自然環境と桜、紅葉といった季節の自然美、観阿弥(能)・忍者・江戸川乱歩・歴史街道・夏見廃寺跡や美旗古墳群などの歴史・文化資源、伊賀米・伊賀牛・伊賀酒・伊賀焼・伊賀組紐・和菓子・漬物・温泉・ぶどうなどの「名張らしさ」を生かした「地域ブランド」と呼ばれる地場産品など、それぞれのテーマに沿った多様な観光ルートの創出と観光拠点を結ぶネットワークづくりを進める。
- ・ 「食」は観光の大きな魅力となることから、多彩な食材を生かし、「名張らしさ」が息づく食文化の創出や新しい特産品の開発・育成などを通して、観光地の魅力を高める。
- ・ 新たなニーズへの対応として、滞在型・体験型など多彩な観光メニューの開発とともに、異業種と連携した観光産業やエコツーリズムなど、観光の新しい展開を創出する。

■ 集客・交流の場としての機能

1. 交通環境の整備

- ・ 主要幹線ルートから観光地へのアクセスルートや案内、誘導サインを整備するとともに、鉄道・バス等交通手段の利便性の向上に取り組む。また移動時間やトイレ、駐車場などの関連施設を明記したパンフレット・タウンマップの制作や観光協会と連携したインターネットの活用により、的確な情報を提供する。

2. 観光を支える人づくり

- ・ 名張の良さや魅力を紹介し、来訪者との人的交流や体験観光を進めるため、「ふるさとの語り部さん(観光ボランティアガイド)」やエコガイドなどを育成する。
- ・ 基本的な観光情報を整理した案内用マニュアルなどを作成し、市民の観光に対する理解を深めるため、観光講座や観光産業従事者に対する研修会を実施するなど、市民ぐるみで観光客の誘致、来訪者の案内役を担うもてなしの心の向上に取り組む。

3. 観光案内・情報発信

- ・ 名張市の魅力の発見などを目的とした地域ウォッチングや話題性のあるまちづくりイベント、観光PRイベントなどを開催し、市内外の人々に効果的な情報発信を行う。
- ・ 観光協会など観光関連団体の育成、旅行会社、鉄道事業者との連携強化による新しい魅力づくりや観光ルートの開発などを進める。
- ・ 関西圏、中部圏を中心にマスメディアとの情報交流を進め、観光宣伝・誘致活動を積極的に推進する。
- ・ 観光案内所の無休化、宿泊施設における夜間・早朝案内、「ふるさとの語り部さん(観光ボランティアガイド)」の手配などによる観光客へのサービス向上と案内機能の充実を図る。
- ・ ウェブサイト、スマホサイトを利用した観光情報の提供や案内システムの強化・充実を進める。

■ 広域観光戦略

- ・ 東大和や伊賀圏域など近隣の市村との観光を通じた連携を強化し、幅広いメニューを備えた広がりのある観光ゾーンを形成して、一体的な観光戦略や情報発信を進めることにより、名張の魅力や知名度向上を図る。
- ・ 来訪者のニーズにあった多様な観光ルートをもつ旅行商品を開発するため、各地域に共通するテーマや特性を生かした観光戦略を企画して、都市圏での観光キャンペーンやマスメディアを活用した情報発信事業を行う。

文化分野の施策

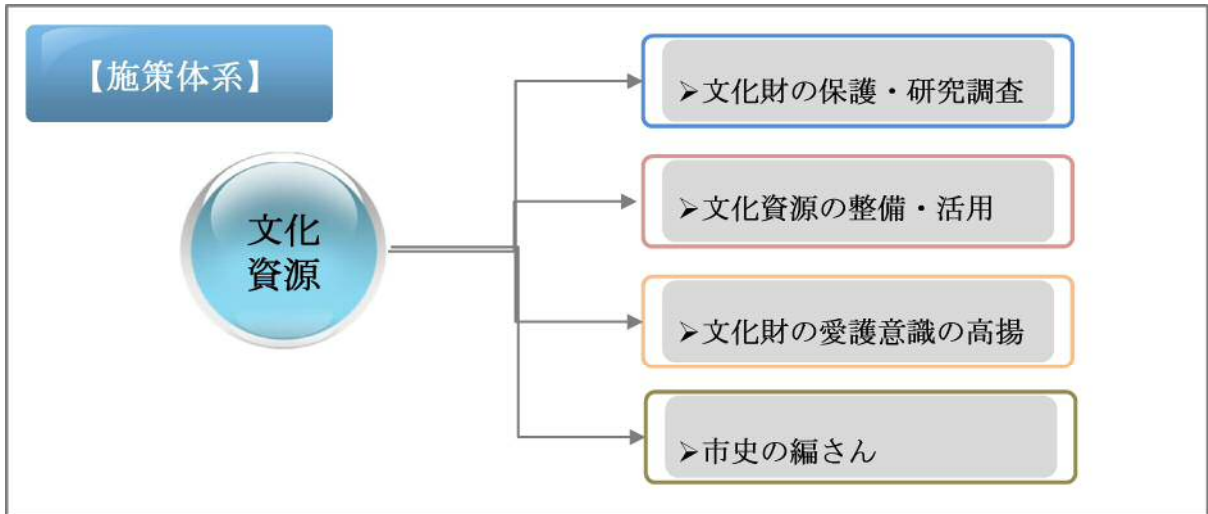
1. 基本方針

- ・ 名張市は、古代より東西交流の要衝として開け、豊かな交流や風土によって育まれた数多くの文化遺産や地域資源がある。これらを市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承する。
- ・ 地域で育まれた文化遺産などの地域資源について、積極的な保存、活用を図るため、学校教育、生涯学習やまちづくり、集客交流産業などと連携しながら、郷土の歴史・文化をテーマとした施設整備などの環境づくりを進め、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組む。
- ・ 文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援する。
- ・ 貴重な歴史遺産、文化などを後世に継承するため名張市史の編さんを進める。

2. 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
1)名張の歴史を知っている 市民の割合(歴史テスト認知率)	38.4%	42.0%	43.0%
2)夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数	497人	1,000人 (延べ)3,700人	1,000人 (延べ)6,700人
3)歴史講座などを通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合	71.0%	72.0%	73.0%
1) 市民意識調査において、(名張の歴史に関する設問で5問中、4問以上を認知している人数/市民意識調査回答者の総数)×100 2) 市民団体の主催により、夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用して開催される行事への参加者数 3) 市民を対象にした歴史ハイキングや歴史講座などを通じて、(文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の数/アンケートの回答者の総数)×100			

■ 観光分野の施策展開



1. 文化財の保護・調査研究

- ・ 有形・無形の文化財について、さらなる計画的な実態調査を実施するとともに、重要なものについては文化財に指定するなど、積極的な保護・保存に取り組む。また、まちなみ景観に重要な役割を果たす歴史的建造物等については、国の登録文化財として申請を行い、その保護と継承に努める。
- ・ 埋蔵文化財については、郷土資料館などの展示施設や整理施設の充実を図るとともに、新たな保管施設について検討を進める。また、重要な遺跡については、史跡に指定して保存に取り組む。
- ・ 市域にある文化財の学術調査や郷土の資料・記録について整備を進めるとともに、調査報告等の公表に取り組む。

2. 文化的資源の整備・活用

- ・ 地域の歴史に親しめるような文化財の展示や公開講座の開催などを進める。
- ・ 田園・歴史・文化ミュージアム構想を具体化するため、史跡美旗古墳群の史跡整備を進めるとともに、能楽発祥の地・観阿弥ふるさと公園など美旗地域に点在する歴史遺産や田園景観の保全・整備を計画的に進める。
- ・ 歴史・文化と地域づくり、観光・産業の連携を強化し、夏見廃寺展示館、名張藤堂家邸、江戸川乱歩、観阿弥や伝統芸能、伊賀まちかど博物館等の名張の文化資源をネットワークで結び、歴史と文化を楽しみながら訪ね歩くことができるようガイドマップの作成等を行う。

3. 文化財の愛護意識の高揚

- ・ 文化財保護の重要性について市民の理解を深めるため、体系的な情報発信を行う文化財ネットワーク事業を推進するとともに、発掘調査説明会や市民を対象としたシンポジウムなどを開催する。
- ・ ふるさとの歴史、文化を内外の人に広く紹介して、交流を広めるとともに、「ふるさと名張」への愛着を育むため、市民団体による散策会や講座などの活動を積極的に支援する。

4. 市史の編纂

- ・ 貴重な歴史文化資料を整理し、名張市の歴史を明解することにより、市民の歴史と文化、伝統に対する理解を深めるとともに、後世の人々に伝えるため、市史の編さんを進める。

2. 3. 2. 名張市エコツーリズム推進全体構想

■ 名張市における観光振興の基本方針

名張市としては、名張の自然や万葉の時代から始まる歴史・文化、地域の資源を活かした取組、話題性のある情報発信などを通じ、「観光振興」に関する総合的な取組を、「名張市産業振興ビジョン」(平成21年3月)との整合を図り、次の基本方針に基づき進める。

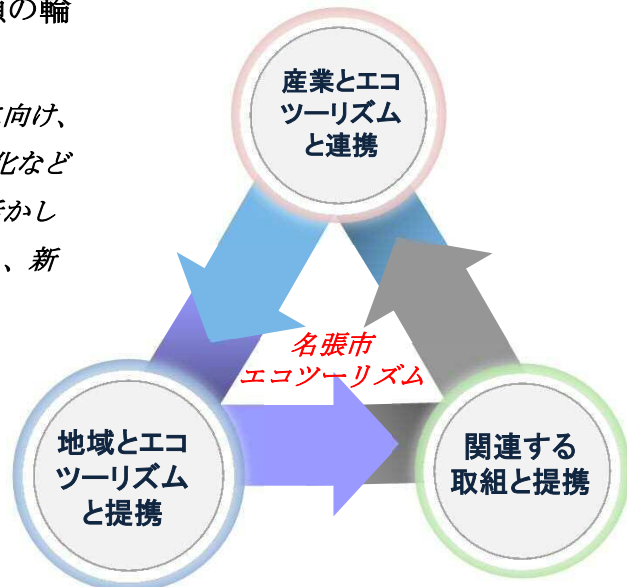
名張市における観光振興の基本方針

<p>①自然観光資源の保全 ■観光振興への取組を通じた自然観光資源の保全</p>	<p>②観光振興のための基盤づくり ■誰もが観光しやすい環境づくり</p>
<p>③地域資源の活用 ■地域資源の付加価値を高める仕組みづくり ■新たな交流の創出 ■観光商品などの開発</p>	<p>④協働と連携による観光振興 ■地域の再認識と「おもてなし」の心の醸成 ■観光の担い手・地域づくり ■自然観光資源特性を活かしたエコツアーの推進</p>

エコツーリズム推進により目指す地域の姿

◆「おおきに」地域の宝で広げる笑顔の輪

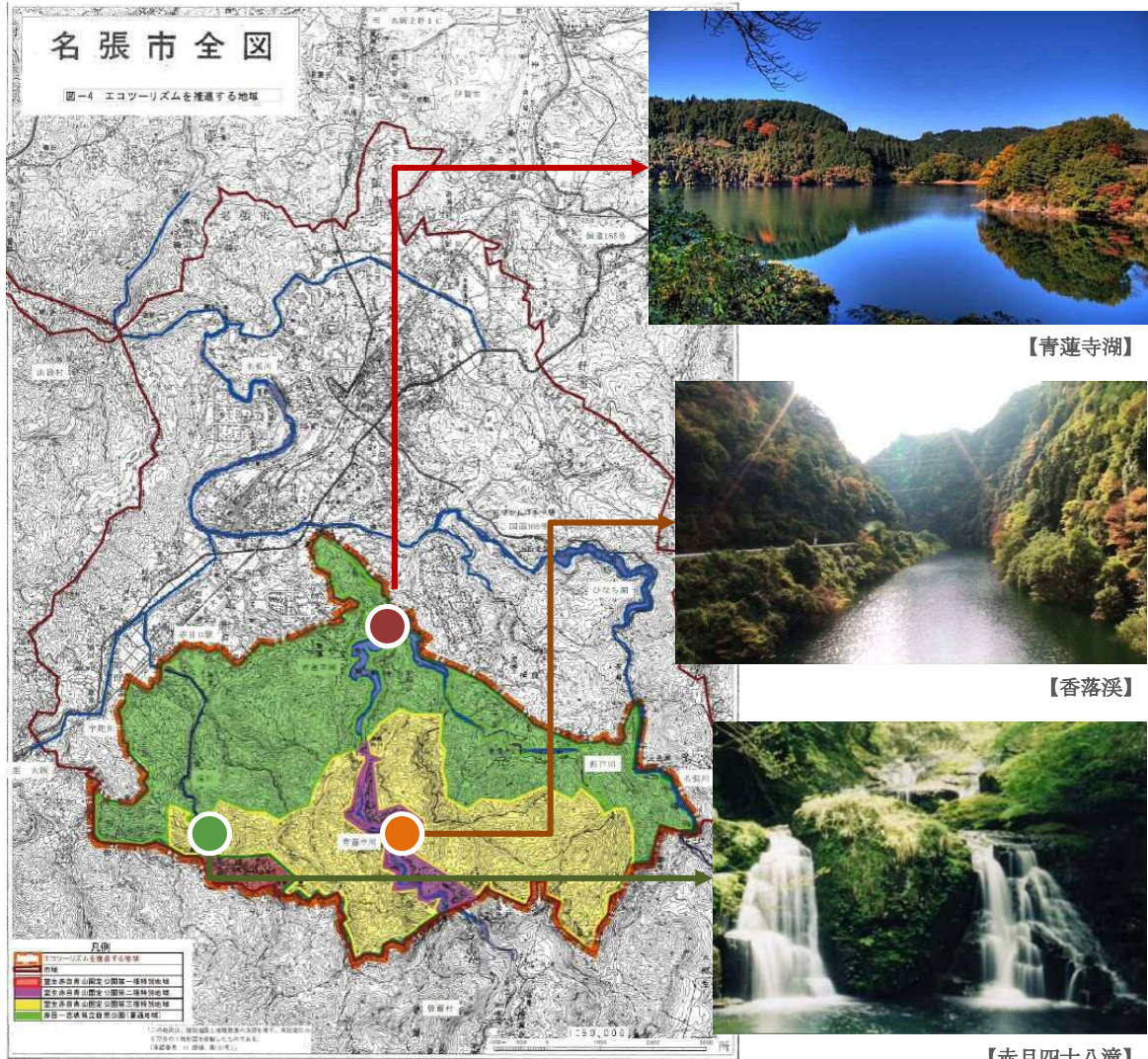
「おおきに」地域で広げる笑顔の輪の実現に向け、3つの基本方針に基づいて、本市の自然文化などの資源を掘り起こし、これからの資源を活かした体験型観光づくりを創出することにより、新たな地域産業の創出を同時に進めていく。



*資料：名張市エコツーリズム推進全体構想の参照

名張市のエコツーリズムを推進する地域

「室生赤目青山国定公園」及び「赤目一志峡県立自然公園」の区域を、エコツーリズムを推進する地域に設定しており、その以外に、名張市既成市街地や美旗古境群周辺地域を検討地域として位置づけている。



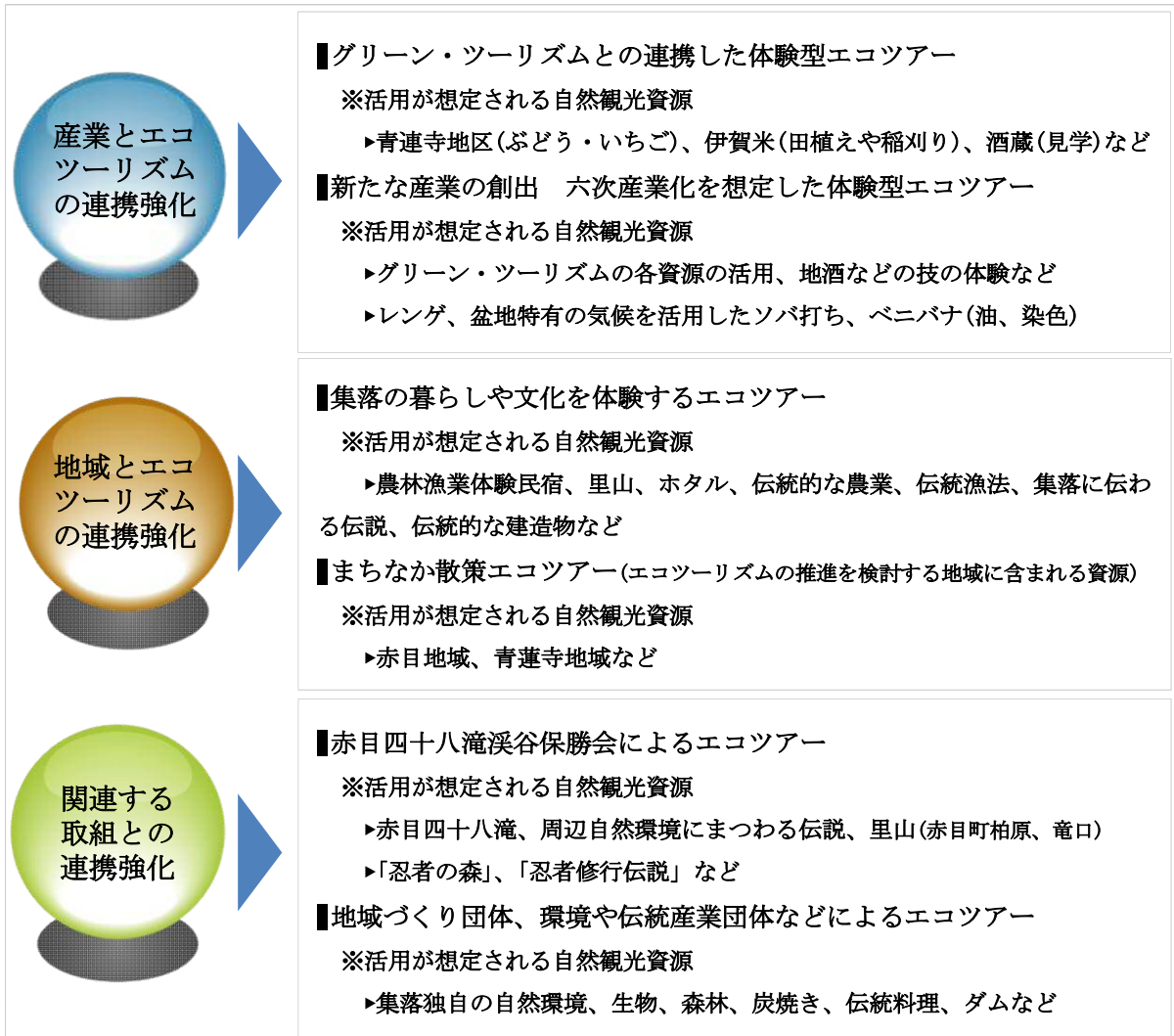
自然観光資源の区別と対象

区分(法第2条第1項)		対象	
自然観光資源	動植物の生息地又は生育地その他の自然環境に係る観光資源	<ul style="list-style-type: none"> 動植物 動植物の生息地又は生育地 その他の自然環境に係る観光資源 	<ul style="list-style-type: none"> 地形・地質 自然景観
	自然環境と密接な関連を有する風俗習慣その他の伝統的な生活文化に係る観光資源	<ul style="list-style-type: none"> 風俗習慣 その他伝統的な生活文化 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化 歴史的資源 文化的景観

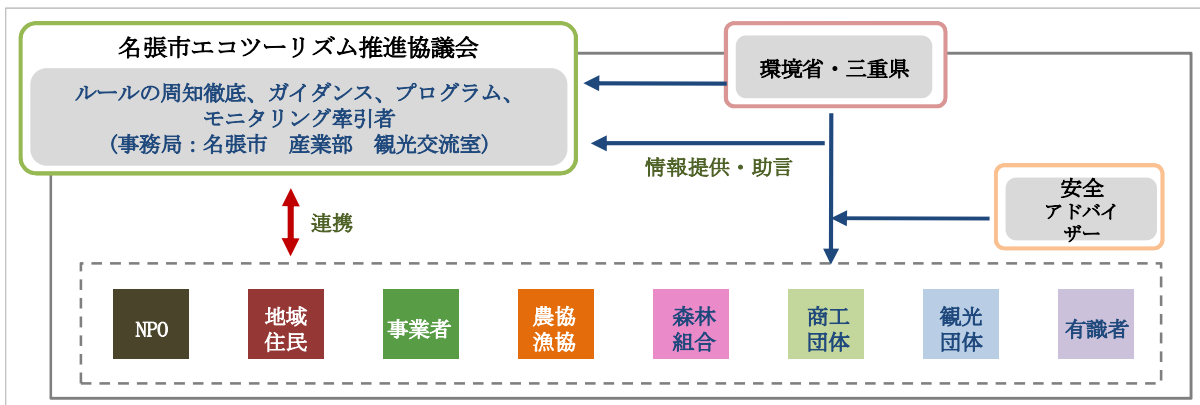
*資料：名張市エコツーリズム推進全体構想の参照

■ 名張市エコツーリズムの実施方法

- ・ 名張市はエコツアーの考え方にに基づき、3つのテーマに即してエコツーリズムを推進している。
- ・ エコツアーとは、観光客が自然環境の保護の配慮しながら地域の自然観光資源と触れ合い、エコツアー実施者(ガイドなど)から案内などを受けて学び、地域の自然や文化などについて知るものである。



■ 名張市のエコツーリズムの推進体制



*資料：名張市エコツーリズム推進全体構想の参照

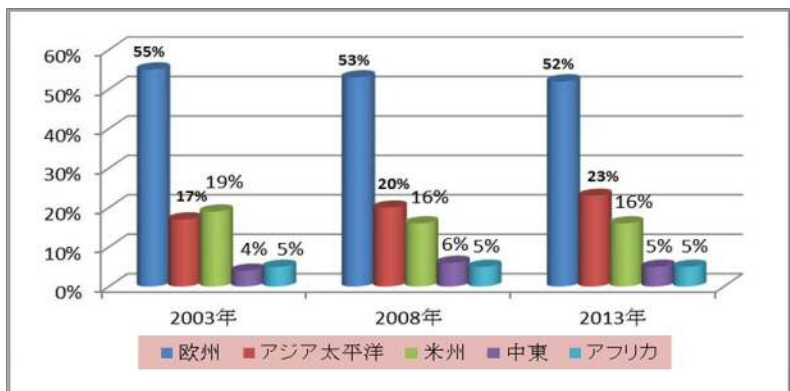
2. 4. 競合環境分析

2. 4. 1. 世界の観光の動向

■平成25年度 世界の観光状況

- UNWTO (国連世界観光機関)の2014年1月の発表によると、2013年、世界全体の国際観光客到着数は前年比の5%増となり、10億8,700万人を記録。
- 国際観光客受入数の地域別シェアは、欧州が過半数を占めているが、徐々に減少している。これに対し、アジア太平洋はシェアが順調に伸びてきており、2003年に17%であったが、2013年は23%にまで拡大しており、著しい成長を見せている。

地域	2003年	2008年	2013年
欧州	55%	53%	52%
アジア太平洋	17%	20%	23%
米州	19%	16%	16%
中東	4%	6%	5%
アフリカ	5%	5%	5%
合計	100%	100%	100%



*資料：UNWTOの資料に基づき観光庁から作成された資料を参照
(四捨五入の都合上100%にならない場合があります。)

■国際観光の環境変化

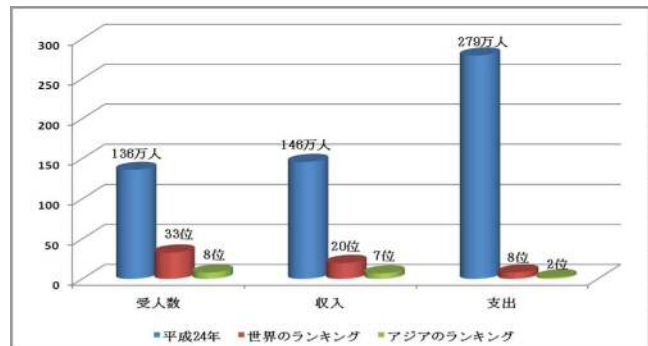
区分	内容
経済環境 変化	<ul style="list-style-type: none"> • 観光事業を高付加価値の事業として認知する。 • 先進国および各国では、観光事業を戦略事業化する傾向が現れる。 • グローバルの経済危機を乗り越える戦略として観光事業が注目される。
社会環境 変化	<ul style="list-style-type: none"> • 週40時間勤務に伴う余暇時間の増大により旅行・レジャー需要が増加 • 参加型旅行(体験学習、エコツアーなど) 拡大と個人(FIT)自由旅行の増加 • 特化型観光事業(医療、クルーズ、MICE) 及び大型イベント開催権獲得のための競争激化
技術環境 変化	<ul style="list-style-type: none"> • モバイル時代の本格化とスマートフォン使用の拡散 • モバイルを基盤とする観光客の情報共有及び再生産 • 個人観光客サービス需要の増加とニューメディア統合マーケティング戦略の活性化
気候環境 変化	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害発生と気候変化問題の重要性に対する認識の拡散 • 環境と生物の多様性保存のための世界的共助努力の活発化 • 持続可能な観光の理念拡散を通じた環境と観光産業の共存成長模索

2. 4. 2. 日本における観光の動向

日本における国際観光の状況(平成24年)

- 外国人旅行者受人数は836万人であり、世界のランキングでは33位、アジアでは8位の水準。
- 国際観光収入は146億米ドルであり、世界のランキングでは20位、アジアでは7位の水準。
- 国際観光支出は279億米ドルであり、世界のランキングでは8位、アジアでは2位の水準。

区分	受人数	収入	支出
平成24年	136万人	146億米ドル	279億米ドル
世界のランキング	33位	20位	8位
アジアのランキング	8位	7位	2位

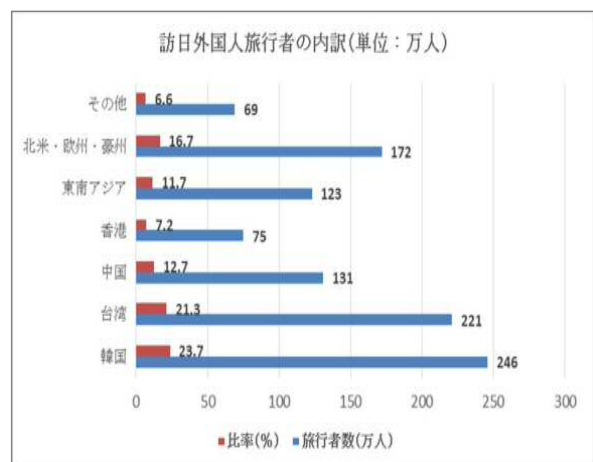


訪日外国人の状況(平成25年)

- 平成25年の訪日外国人旅行者数の推移は1,036万人となり、初めて年間1,000万人を突破。
- 旅行消費額をみると、訪日外国人旅行者の増加が国内における消費額にも大きな影響を与え、2012年の1.1兆円から2013年の1.4兆円へ30.6%増加。



- 国・地域別の訪日外国人旅行者をみると、韓国(23.7%)、台湾(21.3%)、中国(12.7%)が全体の半分以上を占める。
- 東南アジア6カ国(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム)は、平成25年は過去最高の合計115万人となり、全体で11.8%の割合を占める。
- 欧米豪は、合わせて172万人で16.7%の割合である。



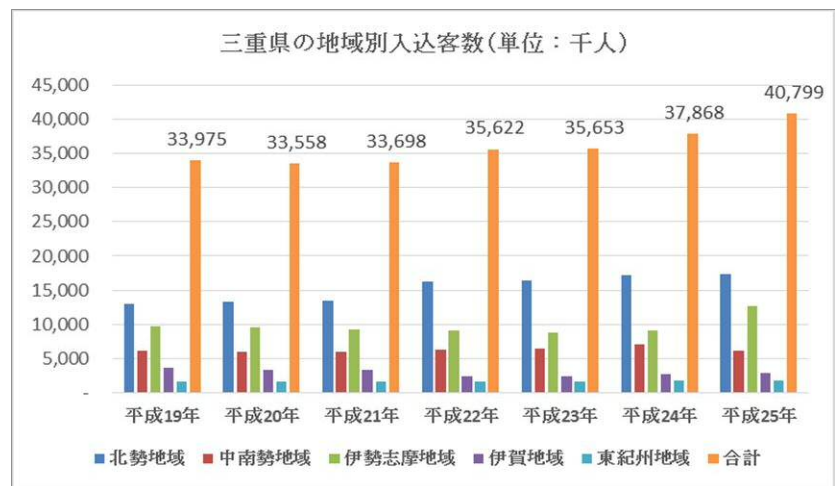
*資料: UNWTOの資料に基づき観光庁から作成された資料を参照

2. 4. 3. 三重県の観光の動向

■ 三重県の地域別入込客数(実数基準)

- 三重県を訪れる観光客数は平成19年の約3400万人から 持続的に増加傾向にあり、平成25年には4000万人で600万人以上の増加が見られた。
- 全体5つの地域で、北勢地域と伊勢志摩地域の2つが占める比率は全体の約70%で、最も多い観光客が訪れており、大幅な変化なく持続的に成長している。
- この5つの地域から名張市が属する伊賀地域は全体で7~10%程度の入込客数に留まり、減少傾向にある。

年度	区分	北勢地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	伊賀地域	東紀州地域	合計(千人)
平成19年	入込客数	12,935	6,122	9,725	3,613	1,580	33,975
	構成比	38.1%	18.0%	28.6%	10.6%	4.7%	100.0%
平成20年	入込客数	13,238	5,925	9,533	3,285	1,577	33,558
	構成比	39.4%	17.7%	28.4%	9.8%	4.7%	100.0%
平成21年	入込客数	13,511	5,901	9,278	3,374	1,634	33,698
	構成比	40.1%	17.5%	27.5%	10.0%	4.8%	100.0%
平成22年	入込客数	16,215	6,350	9,092	2,358	1,607	35,622
	構成比	45.5%	17.8%	25.5%	6.6%	4.5%	100.0%
平成23年	入込客数	16,414	6,493	8,784	2,417	1,545	35,653
	構成比	46.0%	18.2%	24.6%	6.8%	4.3%	100.0%
平成24年	入込客数	17,236	7,039	9,041	2,781	1,771	37,868
	構成比	45.5%	18.6%	23.9%	7.3%	4.7%	100.0%
平成25年	入込客数	17,271	6,166	12,611	2,940	1,811	40,799
	構成比	42.3%	15.1%	30.9%	7.2%	4.4%	100.0%



■ 三重県の調査地点別入込客数

- 直近の10年間、三重県において観光客が最も多く訪れる10カ所を調査した結果、伊勢神宮(伊勢市)、長島リゾート(桑名市)、おかげ横丁(伊勢市)の順で表れている。
- 10カ所中、名張市の観光地は上位10カ所には含まれない。

調査地点名	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	24年順位
伊勢神宮(伊勢市)	5,460	5,659	6,295	7,087	7,505	7,986	8,829	7,886	8,031	1
ナガシマリゾート(桑名市)	4,460	4,485	5,036	5,336	5,582	5,825	6,778	6,985	7,049	2
おかげ横丁(伊勢市)			3,560	3,960	4,010	4,120	4,411	4,240	4,520	3
鈴鹿サーキット(鈴鹿市)	2,463	2,453	2,522	2,088	2,043	1,980	2,012	1,840	1,986	4
二見興玉神社(伊勢市)	1,772	1,876	2,091	2,342	1,773	1,741	1,872	1,849	1,837	5
鳥羽市旅館街(鳥羽市)	3,339	3,274	2,108	2,128	2,164	1,941	1,975	1,790	1,718	6
椿大神宮(鈴鹿市)	1,270	1,272	1,277	1,296	1,310	1,309	1,403	1,411	1,425	7
多度大社(桑名市)	1,269	1,269	1,293	1,293	1,300	1,293	1,340	1,385	1,385	8
志摩スペイン村(志摩市)	1,798	1,568	1,599	1,577	1,640	1,576	1,462	1,437	1,333	9
湯の山温泉(菟野町)	1,026	1,204	1,076	1,123	1,153	1,135	1,148	1,134	1,213	10

[単位：千人]

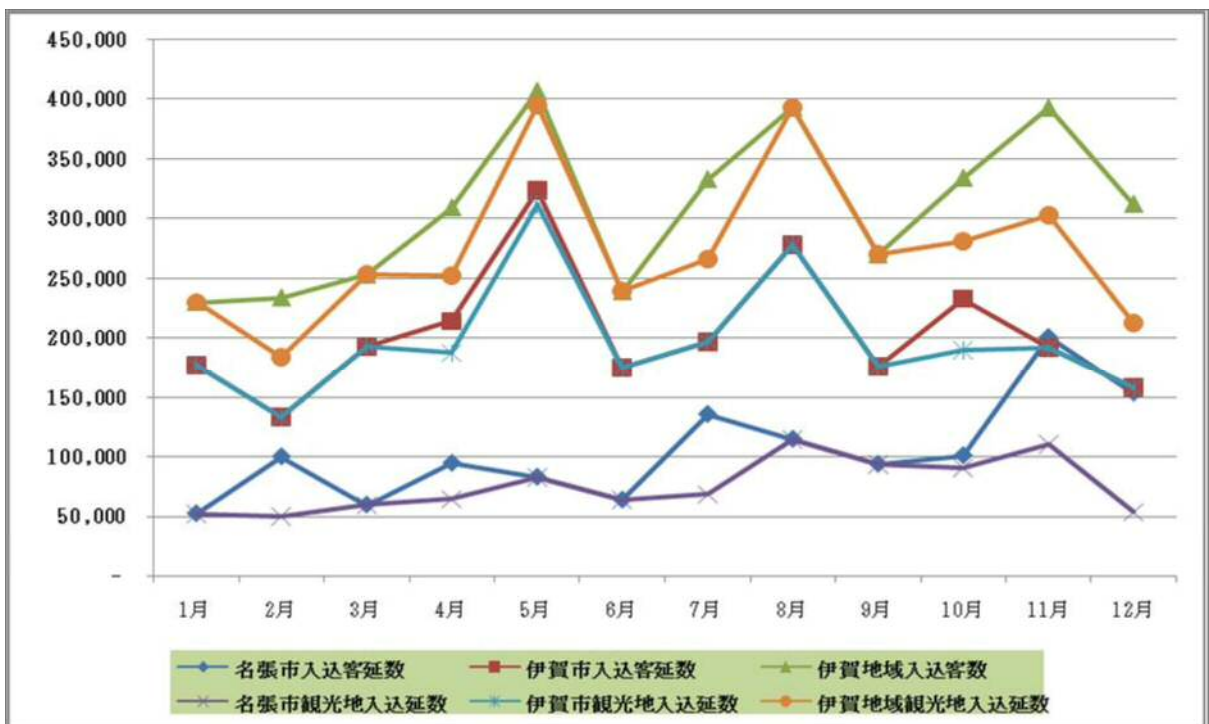
*資料：三重県、ウェブサイトの資料に基づき作成。

2. 4. 4. 三重県の伊賀地域の観光の動向

■ 三重県の伊賀地域の入込客(平成25年)

- 三重県の5地域の中、名張市が属する伊賀地域の観光客の現況をみると、名張市と伊賀市の構成比は3対7の数値を示している。
- この2市を訪問する入込客の比率は33%と66%で現れており、純粋な観光を目的に訪問する入込客は延べ28%, 72%で示されている。
- 年間の比率でみると11月と12月に名張を訪問する客が高く示されている。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
市の入込客延数	名張市	52,672	100,341	59,953	94,972	83,306	64,122	135,908	115,038	94,172	101,332	200,976	153,922	1,256,714
	比率	22. 9%	42. 9%	23. 7%	30. 7%	20. 5%	26. 8%	40. 8%	29. 3%	34. 8%	30. 3%	51. 1%	49. 2%	33. 9%
	伊賀市	177,422	133,558	193,416	214,617	323,991	175,194	197,370	278,246	176,059	233,046	192,184	158,720	2,453,823
	比率	77. 1%	57. 1%	76. 3%	69. 3%	79. 5%	73. 2%	59. 2%	70. 7%	65. 2%	69. 7%	48. 9%	50. 8%	66. 1%
	伊賀地域合計	230,094	233,899	253,369	309,589	407,297	239,316	333,278	393,284	270,231	334,378	393,160	312,642	3,710,537
	比率計	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%
観光地入込客延数	名張市	52,672	50,341	59,953	64,972	83,306	64,122	68,908	115,038	94,172	91,332	110,976	53,922	909,714
	比率	22. 9%	27. 4%	23. 7%	25. 7%	21. 1%	26. 8%	25. 9%	29. 3%	34. 8%	32. 5%	36. 6%	25. 4%	27. 7%
	伊賀市	177,422	133,558	193,416	187,617	311,991	175,194	197,370	278,246	176,059	190,046	192,184	158,720	2,371,823
	比率	77. 1%	72. 6%	76. 3%	74. 3%	78. 9%	73. 2%	74. 1%	70. 7%	65. 2%	67. 5%	63. 4%	74. 6%	72. 3%
	伊賀地域合計	230,094	183,899	253,369	252,589	395,297	239,316	266,278	393,284	270,231	281,378	303,160	212,642	3,281,537
	比率計	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%



*資料：三重県、ウェブサイトの資料に基づき作成。
(入込客の延数のため、他のデータとは数値が異なります。)

2.4.5. 名張市の観光の現況

■ 名張市の観光施設(宿泊収容力)

- ・ 三重県内で宿泊収容能力が一番高い市は鳥羽市(16,390)で、名張市は鳥羽市の約8%(1,351)に留まっている。
- ・ 同じ地域である伊賀市の宿泊収容能力は3,000で、名張市の2倍以上である。

市・町	国際観光ホテル整備法 登録ホテル			国際観光ホテル整備法 登録旅館			日本旅館協会			普通旅館 (ビジネスホテル含む)			民宿			その他*			収容 合計
	登録数	室数	収容 人員	登録数	室数	収容 人員	登録数	室数	収容 人員	登録数	室数	収容 人員	登録数	室数	収容 人員	登録数	室数	収容 人員	
津市	4	386	862				6	211	1,010	36	1,562	2,659	9	83	264	13	312	1,642	6,437
四日市市	4	432	522				1	23	120	32	1,700	2,435				1	28	257	3,334
伊勢市	3	329	480				9	251	1,043	33	942	2,346	6	66	249	1	5	20	4,138
松阪市	1	124	159				1	7	20	26	1,033	1,633				5	103	552	2,364
桑名市	2	211	220	1	178	898	1	76	87	13	786	1,754							2,959
鈴鹿市	3	499	1,092							23	1,249	1,908				6	113	728	3,728
名張市	1	83	96	1	43	220	3	64	254	10	344	517	1	7	20	3	40	244	1,351
尾鷲市							1	57	64	13	177	415	28	211	534				1,013
龜山氏										12	1,025	1,407				1	26	120	1,527
鳥羽市	2		350	19		6,983	22		2,578	67		3,929	70		2,095	7		455	16,390
熊野市							2	22	67	9	208	411	21	164	577	6	95	528	1,583
志摩氏	5	471	978	11	568	2,567	7	143	613	65	2,077	6,662	50	408	1,328	38	391	2,149	4,297
伊賀市	2	229	284				2	103	409	17	719	1,297	3	8	33	7	207	977	3,000
菟野町				4	120	610	3	54	340	7	138	394	1	5	15	20	156	2,797	4,156
紀北町	1	45	218							13	82	182	20	127	374	3	204	1,041	1,815

*その他：ユースホステル・国民宿舎・国民保養センター等・保養所・寮・ペンション・オートキャンプ場・キャンプ場・バンガロー

*資料：観光レクリエーション入込客数推計書観光客実態調査報告書(平成25年)

■ 名張市の農産物や観光地に対する情報発信力

- ・ 名張市民を対象に実施したアンケートの結果、生産や観光地と関連する情報発信に対する結果はネガティブの回答が全体の75%であり、「否定的な結果」であった。

【設問】名張市の物産や観光地が全国に向けてPR(情報発信)されていると思う。

選択肢	平成26年		平成25年		平成24年	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
そう思う	50	4.9%	50	4.7%	33	3.5%
どちらかといえばそう思う	260	25.3%	231	21.9%	185	19.7%
ポジティブの回答	310	30.2%	281	26.6%	218	23.2%
どちらかといえばそう思わない	448	43.6%	483	45.7%	414	44.0%
そう思わない	242	23.6%	265	25.1%	295	31.4%
ネガティブの回答	690	67.2%	748	70.8%	709	75.4%
無回答	27	2.6%	27	2.6%	13	1.4%
合計	1,027	100.0%	1,056	100.0%	940	100.0%

*資料：名張市総合計画「理想郷プラン」にかかる市民意識調査アンケート

2. 5. SWOT分析および主要課題

2. 5. 1. SWOT分析



2. 5. 2. SWOT分析からの対応戦略

SO戦略

- 文化・歴史観光資源との連携を強化するための観光コース企画
- 大都市居住者(カップル、家族など)を対象に週末と休暇シーズンに合わせたプロモーション企画
- 三重県および周辺都市の子供を対象とする体験教育プログラム推進
- 水資源を活用する季節企画強化(夏の水上レジャー企画中心)

WO戦略

- 観光関連施設の拡充
- 自然の中での休息および癒しプログラム開発と専門施設の誘致計画検討(ヨガ専門施設など)
- 観光客の滞在時間延長のためのストーリー開発と観光コース内のストーリーづくり
- 全国エコツーリズム認定自治体と連携する広報戦略強化

ST戦略

- エコツーリズムシティに適合するローカルフードの開発およびスローツアープログラム開発
- 周辺観光地との連携強化のためのエコ交通サービス実現(自転車、電気自動車貸与など)
- 春・秋に行われる祭り、イベントを活用する団体観光客誘致プログラム開発
- 新しい都市ブランドイメージ構築のための記念品開発(エコ都市、自然都市イメージ商品)

WT戦略

- 単純で画一化された観光地(観光コース)であるというイメージ改善のための新広報キャンペーン実施
- 類似した観光活動(ハイキング)が行われている周辺競合地域との差別化戦略推進
- 体験・教育企画(イチゴ狩りなど)への特化とプロモーションを通じたニッチ市場の拡大
- 自然保護と関連する全国的キャンペーンに積極的に参加し、肯定的な都市イメージを発信